

人事行政の運営の状況

平成17年度における本組合職員の給与、職員数、勤務条件など、人事行政の運営の状況について、概要をお知らせします。

1 総括

(1) 人件費の状況（平成17年度普通会計決算）

歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A
4,233,806 千円	56,541 千円	798,813 千円	18.8 %

(注) 人件費には特別職に支給される給料及び報酬を含みます。

(2) 給与費の状況（平成18年度一般会計予算）

職員数 A	給 与 費				1人当たり給与費 B/A
	給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
93 人	374,641 千円	71,940 千円	150,849 千円	597,430 千円	6,424 千円

(注) 給与費は当初予算に計上された額です。職員手当には山形県市町村職員退職手当組合負担金を含みません。

2 一般行政職の平均給料月額等の状況（平成18年4月1日現在）

(1) 平均年齢・平均給料月額の状況

区分	平均年齢	平均給料月額
一般行政職	<60歳11月	326,059 円

(2) 経歴年数別・学歴別平均給料月額の状況

区分	経 験 年 数		
	10～15年	15～20年	20～25年
大学卒	292,700 円	342,000 円	該当職員なし
高校卒	242,200 円	275,200 円	336,400 円

(3) 級別職員数の状況

区分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	計
標準的な職務内容	主事・技師	主任	主任	係長・主査	課長補佐	事務局長・課長	
職員数	17 人	16 人	11 人	26 人	9 人	7 人	86 人
構成比	19.8 %	18.6 %	12.8 %	30.2 %	10.5 %	8.1 %	100 %

3 職員手当の状況

(1) 期末・勤勉手当（平成17年度支給状況）

置賜広域行政事務組合				国	
(1人当たり平均支給額)				1,600 千円	
(支給割合)	期末手当	勤勉手当		期末手当	勤勉手当
	3.0 月分	1.4 月分		3.0 月分	1.45 月分
(加算措置の状況)				(加算措置の状況)	
職制上の段階、職務の級等による加算措置				職制上の段階、職務の級等による加算措置	

(2) 退職手当（平成17年度）

区分	支 給 率				退職時の特別昇給	その他の加算措置
	勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度額		
自己都合	21.00 月分	33.75 月分	47.50 月分	59.28 月分	—	—
勲 獎					2号給	有
定 年	27.30 月分	42.12 月分	59.28 月分	59.28 月分	1号給	—

(3) 時間外勤務手当

区分	平成17年度決算	前年度決算
支給実績	7,400 千円	10,020 千円
1人当たり平均支給年額	85 千円	138 千円

(4) 特殊勤務手当

区分		全職種
支給実績（平成17年度決算）		3,425 千円
1人当たり平均支給年額（平成17年度決算）		90,492 円
職員全体に占める手当支給職員の割合（平成17年度）		74.7 %
手当の種類（手当数）		4 種類
手当の名称	主な支給対象業務	支給単価
清掃業務手当	し尿又はごみ処理業務	日額 200 円
危険手当	①し尿処理施設の投入槽、貯溜槽、曝気槽、浄化槽等の清掃、点検、整備等の業務 ②ごみ焼却炉の炉内、煙道等の清掃、点検、整備等の業務 ③巨大ごみ処理施設の破砕機内部等の清掃、点検、整備等の業務	日額 1,500 円
職務手当	し尿、ごみ処理施設の技術管理者、電気主任技術者、ボイラータービン主任技術者の業務	日額 100 円
交替制勤務手当	クリーンセンターでの交替制勤務	1回 1,000 円

(注) 「手当の種類」以下は、平成18年4月1日現在です。上記以外の特殊勤務手当（養護ホー人に勤務する職員に対して支給する職務手当、現金取扱手当及び死体取扱手当）は、条例で支給を凍結しています。

(b) その他の手当

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	(平成17年度決算)	
				支給実績	1人当たり平均支給年額
扶養手当	配偶者13,000円、配偶者以外2人まで6,000円、その他は1人につき5,000円など	同		千円 12,348	円 216,630
住居手当	借家 上限27,000円 持家 3,000円	異	持家は、5年償2,500円	3,966	73,440
通勤手当	交通機関利用 上限55,000円 交通用具使用 上限29,000円	異	交通用具使用の上限24,500円	10,077	113,226

4 職員数の状況

(1) 部門別職員数（各年4月1日現在）

区分	職員数		対前年増減数	主な増減理由
	平成17年	平成18年		
総務	14人	13人	△1人	組織変更に伴う減員
民生	22人	21人	△1人	人員配置是正に伴う減員
衛生	59人	59人		
計	95人	93人	△2人	

(2) 職員の採用・退職の状況

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	事務職	技術職	技能労務職	計
採用		2人		2人
退職		2人	1人	3人

5 勤務時間その他の勤務条件

(1) 勤務時間等の状況（標準的なもの）

1週間の勤務時間	勤務時間の割り振り					休日
	始業時刻	終業時刻	休憩時間	休憩時間	週休日	
40時間	8:30	17:15	12:00～12:15 17:00～17:15	12:15～13:00	土曜日 日曜日	・区民の休日に関する法律に規定する休日 ・12月29日から1月3日までの日

(注) クリーンセンターや養護老人ホームの勤務場所では、上記と異なる勤務形態の場合があります。

(2) 主な休暇の種類と内容

区分	内容
年次有給休暇	1年につき20日（20日を限度に翌年に繰越すことができます。）
病気休暇	職員が負傷又は疾病のため療養する必要があり、その勤務しないことがやむを得ないと認められる場合に、その都度必要と認められる期間
特別休暇	選挙権の行使、結婚、出産、子の看護、交通機関の事故その他の特別の事象により職員が勤務しないことが相当であると認められる場合に、その都度必要と認められる期間

(3) 年次有給休暇の状況（平成17年）

1人当たり平均取得日数	2.8日
-------------	------

置賜 風俗 賜 遺跡 再 発見 自然見

郷土芸能 第9回

ふるさとへの心をきく

次の世代に残したいもの、いつまでも語り継がれていくもの、家族や地域をつなげるきよかな、はじめて出会うともなげか懐かしさを感じる、遠い記憶のどこかにある情景、それは私たちの「ふるさと」にあります。

置賜広域行政事務組合では、置賜圏域を活力に満ちた地域にしているための事業として、3市5町と連携しながら「広域的交流活動の促進」や「広域的人材の育成」をテーマとしたソフト事業を実施しています。ここでは、その事業の一つである「ふるさと再発見事業」の一環として、置賜圏域ならではの地域資源をシリーズで紹介していきます。第九回は「置賜の人形」です。置賜にある素材で愛らしい人形を、もう一度眺めて見ませんか。

置賜の人形

置賜地方には、米沢市の相良人形、成島人形、下小菅人形、白鷹町の深山和紙しらたか人形などのさまざまな郷土人形や、口から伝わるひな人形があります。今回は、川西町のひな人形、米沢市の伝説こけしと近代こけし、笹野一刀彫の三つを紹介し、地域との関わりを探ってみました。

ひな人形

ひな祭りの歴史

3月3日は、桃の節句、ひな祭りとして親しまれて、います。本来は、古来中国から伝わり、平安時代に天皇が人形で体を撫でて厄を祓うことから始まりました。時が流れ、厄を祓うという意味がなくなっ



古今雛

いき、現在のような女の子のお祭りとなったのは、江戸時代頃といわれています。また、置賜地方で、人形を飾る習慣が定着したのは、江戸時代後期頃で、一般の家では、郷土の人形で節句をお祝いしたようです。

川西町のひな人形の歴史

川西町のひな人形の歴史は、二つに分かれます。一つは、玉庭地区の旧士族の家に残る人形で、これは江戸時代に藩の勤めで京都や江戸へ上った際の土産として買い求めてきたといわれています。二つめは、小松地区などの商家に残されているもので、商品の仕入れの際や他地域からの嫁入りの際などに持ち込まれたもので、さまざまなルートで人づてにきたといわれています。

川西町のひな祭り

上杉家の家臣たちも暮らした川西町の玉庭地区では、毎年3月下旬から4月上旬に地区内数軒の民家で大切にされてきたお雛さまを飾る「玉庭ひなめぐり」という行事が行なわれています。雪深い玉庭地区にひと足早い春の訪れを告げる行事として、また、郷土料理のおもてなしなど農村地域の素朴なひなまつりとして、多くの方が訪れるようになっていきます。一方、町内小松地区の樽平酒造では、登録文化財となっている母屋の座敷

に華やかな古今雛が飾られ、こちらでも昔ながらの雰囲気味わうことができます。

ひな人形は、いつの時代も女の子の健やかな成長と幸せを願う親の気持ちが届められています。各家庭にあるひな人形を、これからも大切にしていきたいでしょう。



樽平酒造の雛飾りの様子

こけし

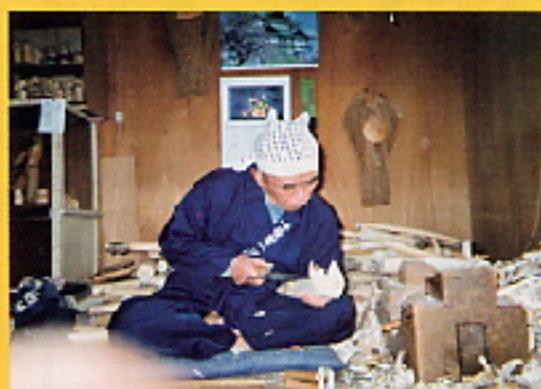
伝説こけし

伝説こけしは、東北各県に点在し、その地方の風土、庶民の文化、信仰に由来し作り続けられてきました。明治時代後半に東北地方の農家の子供たちの遊び道具として、こけし

笹野一刀彫を次世代につなぐ

笹野彫協同組合
組合長 高橋 力雄さん

「笹野彫りは、千年以上の歴史があり、農家の親から子へ伝承されてきました。昭和44年凶年の年賀切手の凶案に使用されてから、笹野一刀彫の人氣がでてきました。そのころは、笹野地区はほとんどの人が農家で、150人の組合員がいました。農家の冬の副業として、出稼ぎに行く必要がないくらい忙しかつたです。人氣が落ち着き、古くからあるものだけでなく、アイデアものを作ったり、その年の干支を作ったりして工夫をしています。現在の会員は、30名くらいですが、本業でしている人は数える程度で、後は、農家を勤めている人が副業としているのが現状です。ずっと眺めるものなので、納得のいく品物を出していきたいと思っています。いい品物は、木の質、職人の状態でも違って来るし、一日でできることは、手作りのため限られてきますが、いいものしか外には出さないようにしています。厳しい状況は続きますが、この素晴らしい伝統と技をなんとか次世代につなげていきたいですね。」



笹野彫りを彫る様子

◆お待ちしております◆

シリーズ置賜再発見では、置賜の風俗、遺跡、史跡、自然、郷土芸能などを紹介する予定です。

みなさんからの情報をお待ちしております。
置賜広域行政事務組合総務課企画係
〒992-0012
米沢市金池三丁目1番55号
TEL 0238(23)3246
FAX 0238(24)4659
メールアドレス kikas@okikou.or.jp

取材協力及び写真を提供していただきました。
川西町フレンドリープラザ、川西町浸場産業創造室
藤田宥宣さん(川西町)、栗林一雪さん(米沢市)
高橋力雄さん(米沢市)、笹野民芸館(米沢市)

がもてはやされました。当初は笹野家の熱意によって現在のこけしになりました。昔から技法を親から子へ、師匠から弟子へと受け継がれ、素朴であたたかいこけし作り続けられています。

近代之けし

も一度眺めてみましょう



近代こけし

戦後から始まり、伝統技法を重んじながらも独創性のある、あたらしい民芸品を作ろうとしたのが始まりです。木の素地の美しさを生かして、力強い造形力で作ったこけしは、現代の生活によく合います。特に芸術的な創作こけし部門には優れた作家が多く、各種大会やコンクールでも常に上位を占め、質、量とも米沢が全国のトップレベルといえます。

「よねざわ豆本の会発行
『こけし』栗林一雪著を参照」



笹野彫り

こけしは、全国の各家庭で飾られたり、こけし館や博物館に展示されたり、作家や作品は、後世に伝えられていきます。東北は、模様や形が違ってくる色んなこけしがあります。各家庭にある素朴で愛らしいこけしをもう一度、眺めてみましょうか。

現在まで大切に伝承されてきた伝統工芸品の現状は、後継者育成や需要の減少など、厳しい課題があります。地域の歴史と文化に深く関係がある人形を、後世に残していくまいしょう。

後継者育成が課題

農家の人の手で彫り削られ、豆に技法を磨いて、今日まで大切に伝えられてきました。この伝統を次世代につなぎ、守っていきましょう。

笹野一刀彫

4年以上の歴史

笹野一刀彫は、千数百年前から米沢市の笹野地区の農家で代々受け継がれてきました。江戸時代に上杉鷹山公が領内の産業奨励として、農民の副業として作られたのが始まりとされています。

農家自体が少なくなり、高齢化で、笹野彫りを作る職人が減ってきています。現在、後継者が育ってきいていません。中学生・高校生の体験学習で、笹野彫りの実演見学後に、絵付け教室を行ったりして、笹野彫りに親しんでもらう活動をされています。

おきたまニュース

11月議会定例会を開催

本組合11月議会定例会が去る11月20日に開かれました。

この議会では、平成17年度一般会計及び特別会計決算が原案どおり承認されました。また、平成18年度一般会計補正予算が原案どおり可決されました。

おきたま座談会のホームページ

2月1日開設

新置賜広域ふるさと市町村圏計画広域活動計画に基づく「ふるさと再発見事業」を推進するため、平成17年11月1日に、置賜三町五町の16名の委員からなる「おきたま座談会」が発足しました。この事業の目的は、埋もれている地域資源等を再発見し、現有の地域資源と合わせて新たにくり直して、置賜地域の活性化につなげていくこととするものです。座談会では、現在、これらの地域資源を盛り込んだ広域的なルートマップを作成しています。

このルートマップを載せたホームページ「置賜探検隊」を平成19年2月1日に開設する予定です。座談会の委員が、置賜地域の楽しく役に立つ情報を随時更新します。ぜひ、ホームページにアクセスしてください。

URL: <http://okitan.com>



指名競争入札参加登録申請の

受付について

本組合の指名競争入札参加の登録申請を、次のとおり受け付けます。

なお、今回から申請区分により受付期間及び有効期間等が異なりますので、ご注意ください。

詳細はホームページをご覧ください。

▼①建設工事、②測量・建設コンサルタント
有効期間：①②とも平成19・20年度です。定時登録のため、登録を希望するすべての方が対象です。

受付期間：平成19年2月1日(木)～2月20日(火)です。

▼③物品納入・役務提供

有効期間：平成19年度のみです。追加登録を希望される方が対象です。(平成17・18年度に登録済みの方は申請不要です) 受付期間：平成19年1月15日(月)～2月16日(金)です。

※①②③いずれも郵送可、当日消印有効

▼申請要領及び必要書類等

次の方法により配布します。

①本組合ホームページからダウンロード

(URL: <http://www.okikou.or.jp/>)

②本組合総務課又はクリーンセンター等

各施設で直接配布

③郵送により配布(申請区分を明記し、

80円切手を貼付した返信用封筒を本組合

総務課庶務係に送付すること)

▼問合せ・申請先

T 99220012

茨沢行金池三丁目1番55号

置賜広域行政事務組合 総務課庶務係

電話 0238(23)3246

どぶろくまつり

11月～5月まで、飯豊町のおいしい水とおいしいお米でつくった「どぶろく」をお楽しみいただくことができます。

どぶろくは、真っ白なお酒で、まろやかでこくがあり、期間限定のお酒です。ぜひお楽しみください。

どぶろくをお楽しみいただけるのは、

・がまの湯いいで旅館 (0238-72-3706)

・白川温泉「白川荘」 (0238 77 2124)

・ホテルフォレストいいで (0238 78 0010)

の三箇所です。

●問合せ先：飯豊町役場産業振興課商工観光室
☎0238-72-2111 内線250・252



囲炉裏に集う～いろいろ講座～

「いろいろ」について学んだり、「いろいろ」で料理を作ります。

●日 時 / 1回目 1月20日(土)

2回目 2月17日(土)

10時～13時30分

●場 所 / 浜田広介記念館「ひろすけ生家」

●定 員 / 20～30人

(定員になり次第締切り、先着順。)

●参加費 / 100円(損害保険料)

※学童保育所、子ども育成会等、集団で参加の場合は送迎の相談に応じます。

●問合せ先 / 浜田広介記念館 ☎0238 (52) 3838



置賜広域行政事務組合平成17年度決算報告

本組合の平成17年度決算が11月の議会で認定されました。内容をお知らせします。

一般会計

〔歳入〕

3市5町からの分担金	34億1,948万1,873円
使用料及び手数料	7億8,163万0,392円
財産収入	4,084万8,263円
繰越金	2,908万2,733円
諸収入	67万7,343円
組合債	1,260万0,000円
寄附金	404万5,616円

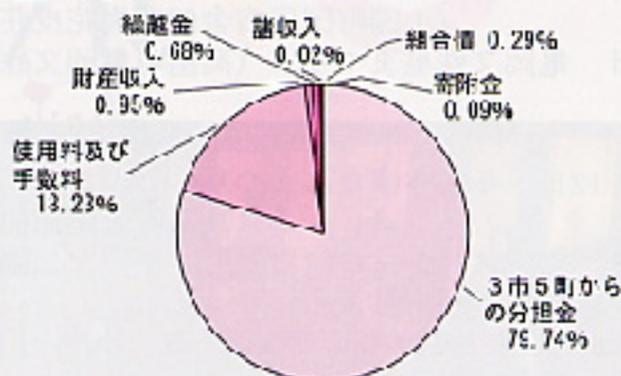
このお金は以下のように使われました。

〔歳出〕

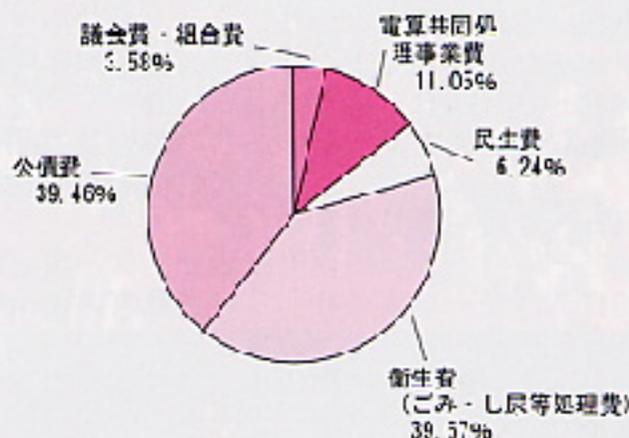
議会費・組合費	1億5,204万8,694円
電算共同処理事業費	4億6,798万1,431円
民生費	2億6,420万3,767円
衛生費（ごみ・し尿等処理費）	16億8,039万9,367円
公債費	16億7,161万1,422円

歳入総額	42億8,836万6,220円
歳出総額	42億3,624万4,681円
平成18年度への繰越額	5,212万1,539円

歳入



歳出



ふるさと市町村圏事業費特別会計

〔歳入〕

財産収入	319万9,699円
繰越金	1,094万3,540円
諸収入	1,030円

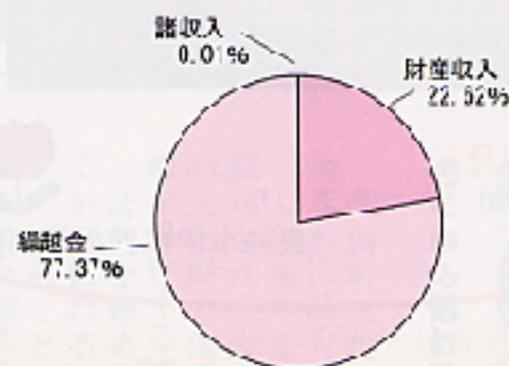
このお金は以下のように使われました。

〔歳出〕

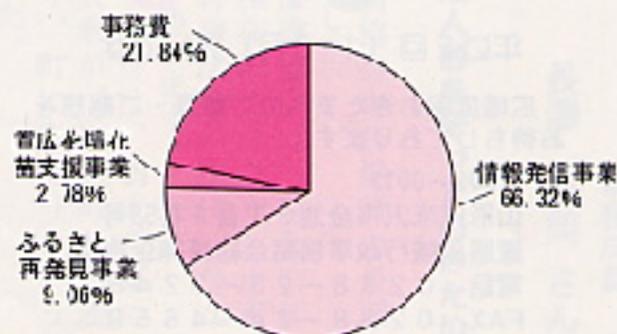
広域的交流活動の促進	
・情報発信事業	169万8,750円
・ふるさと再発見事業	23万2,168円
広域的人材の育成活用事業	
・置戸花壇花苗支援事業	7万1,186円
事務費	55万9,292円

歳入総額	1,414万4,269円
歳出総額	256万1,396円
平成18年度への繰越額	1,158万2,873円

歳入



歳出



おきたまごよみ

1月 (睦月)

- 17日 笹野観音初十七堂祭
(米沢市笹野観音境内)
- 20日 スノーシュー体験会
(川西町浴浴センターまどか付近)
- 24日～26日 第25回つる細工講習会
(小国町国民宿舎飯豊梅花皮荘)
- 25日 亀岡文殊星まつり (高島町亀岡文殊)



2月 (如月)

- 2～12日 冬咲きばたんまつり
(高島町太陽館他)
- 3日 雪中スペシャル (白鷹町スポーツ公園)
- 10～11日 上杉雪灯籠まつり
(米沢市上杉神社・松が岬公園一帯、市内一円)
- 11日 東北学生音楽祭
(川西町フレンドリープラザ)
- 中旬 雪灯り回廊まつり (長井市タス)
- 中旬 たかはた冬まつり (高島町太陽館他)
- 18日～3月25日 コレクション展
「新収蔵品展 米沢藩ゆかりの美術工芸品」
(米沢市上杉博物館)
- 24日 春待ち雪見の宴
(川西町浴浴センターまどか)
- 25日 スキー場まつり (白鷹町スキー場)
- 25日 中津川雪まつり
(飯豊町中津川小中学校グラウンド)
- 25日 ウィンタースポーツ大会
(小国町横根スキー場)



3月 (弥生)

- 3～4日、10～11日
スノーモービル体験ツアー
(飯豊町白川湖岸公園)
- 3～4日 雪の学校 (小国町五味沢地区)
- 19日 プラザ子ども演劇祭
(川西町フレンドリープラザ)



4月 (卯月)

- 上旬～下旬 さくらまつり
(長井市伊佐沢久保桜他)



- 上旬～下旬 伊佐沢念仏踊り
(長井市伊佐沢小学校)
- 14日～5月3日 特別展「直江兼続」(前期)
(米沢市上杉博物館)
- 15日 市指定無形民俗文化財・鍋田念仏踊り
(南陽市大符神社)
- 中旬～5月上旬 赤湯温泉桜まつり
(南陽市赤湯温泉)
- 中旬～下旬 古典桜の里・桜まつり
(白鷹町釜の越農村公園)
- 29日～5月3日 米沢上杉まつり
(米沢市松が岬おまつり広場、
市内目抜き通り、松川河川敷等)
- 下旬～5月上旬
スカイフェスティバル in 南陽
(両陽市南陽スカイパーク)
- 下旬 観音岩春の散策会 (高島町二井宿観音岩)
- 下旬～5月6日 ヤナ開きまつり
(白鷹町ヤナ公園)
- 下旬 源流の森オープン (飯豊町源流の森)



5月 (皀月)

- 上旬 浜田玄介記念館春の童話まつり
(高島町浜田玄介記念館)
- 3～7日 右権花まつり (小国町未定)
- 4日 小玉川熊まつり
(小国町国民宿舎飯豊梅花皮荘)
- 10日頃～ 白つつじまつり
(長井市白つつじ公園)
- 12日～6月3日 特別展「直江兼続」(後期)
(米沢市上杉博物館)
- 13日 高ハ山のH (白鷹町白鷹山山頂)
- 13日 全国白川湖畔マラソン大会
(飯豊町白川湖岸公園周辺)
- 中旬 白つつじマラソン
(長井市市民文化会館前)
- 下旬 ながい馬獅子まつり
(長井市内目抜き通り)
- 下旬(予定) 観光わらび園開園
(飯豊町観光わらび園)
- 下旬(予定) 森林セラピー®基地グランドオープン
(小国町温身平)

6月 (水無月)

- 10日 あやめまつり (長井市あやめ公園)
- 10日前後 どんでん平ゆり園開園
(飯豊町どんでん平ゆり園)
- 中旬 リンシャイントライアル
(白鷹町スキー場)
- 17日 黒べこまつり
(飯豊町どんでん平ゆり園)



広域広報 **おきたま** は

年に2回(1・8月)発行です

広域広報おきたまへのご意見・ご感想を
お待ちしております。

〒992-0012

山形県米沢市金池3丁目1番55号
置賜広域行政事務組合総務課企画係
電話 0238-23-3246
FAX 0238-24-4659
E-mail kikaku@okikou.or.jp
URL <http://www.okikou.or.jp/>